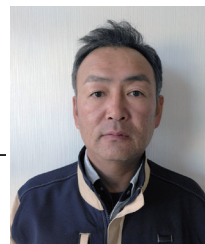


酒田港外港地区岸壁 (-12 m) 撤去工事について



酒田港外港地区岸壁 (-12 m) 撤去工事
株式会社本間組 監理技術者 樋口 遊



全景

酒田港は、令和6年4月に洋上風力発電基地に指定されたことを受け、酒田港外港地区の既設ケーソン式護岸を撤去し新たな岸壁を整備します。本工事は、この事業の初めての工事で、既設ケーソン式護岸の陸上部と海中部を撤去するものです。工事内容として

陸上部の撤去では、従来工法では工程がかかりすぎるため、割岩工法及びブレーカを使用し、運搬可能な大きさまで一次破碎したうえで早期に場外搬出したことで、着工から約2.5か月で撤去完了しました。

海中部の撤去では、根固・被覆ブ

は、陸上部では施工延長L=280mの上部コンクリート及び蓋コンクリートを約7,000m³撤去し、背面の土砂を撤去します。海中部では根固・被覆ブロックを約1,000個と基礎捨石約11,000m³を起重機船で撤去します。

ロックに土砂が堆積しており、玉掛作業が困難であるため、オレンジバケットでブロックを撤去しました。また現在施工中の基礎捨石についても土砂が堆積し、かつ石同士が締まっており撤去に時間を要することから、起重機船2隻体制で対応しています。

ICT活用として、ブロック撤去時ではブロックと潜水士の位置を、基礎捨石撤去時ではグラブバケットと既設構造物の位置をリアルタイムに可視化し、潜水災害防止や接触災害防止を図りました。

現在工事は、最終段階を迎えており、最後まで気を緩めず、無事故・無災害で竣工するよう安全管理を徹底してまいります。



割岩工法



基礎捨石撤去状況



海中可視化

創ります。人と自然と文明の共存を。



株式会社本間組

東北支店 / 宮城県仙台市青葉区本町1丁目11-1
HF 仙台北町ビルディング ☎ 022-222-5244